



2026年2月6日

各 位

会 社 名 オンコリスバイオファーマ株式会社
代表者名 代表取締役社長 浦田 泰生
(コード番号:4588)
問合せ先 執行役員 秦 耕平
(TEL.03-5472-1578)

通期業績と前期実績との差異に関するお知らせ

当社は、本日公表の2025年12月期（2025年1月1日～2025年12月31日）業績につきまして、2024年12月期実績値との間に差異が生じましたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 2025年12月期業績と前期実績との差異

(百万円未満切捨て)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|-----------|---------------|---------------|---------------|----------------|
| 前期実績 (A) | 百万円 31 | 百万円 △1,681 | 百万円 △1,663 | 百万円 △1,684 | 円 銭 △77.17 |
| 当期実績 (B) | 28 | △2,024 | △2,051 | △2,058 | △80.00 |
| 差異額 (B-A) | △3 | △343 | △388 | △374 | — |
| 差異率 (%) | △9.6 | — | — | — | — |

2. 差異の生じた理由

2025年12月期の売上高は、前期実績と比較し3百万円の減収となりました。これは、OBP-601のライセンス先であるTransposon社からの売上高が、円高により減少したためです。

また、利益面では、OBP-301の製造販売承認申請や商用製剤GMP製造などを中心に、研究開発の進展により研究開発費は前年実績を上回り、2024年12月期1,088百万円から2025年12月期1,470百万円と382百万円増加しました。

そのため、2025年12月期の販売費及び一般管理費は、研究開発費の増加を主な理由として2024年12月期1,712百万円から2025年12月期2,052百万円へ340百万円増加しました。その結果、営業損失・経常損失・当期純損失が2024年12月期と比較して拡大しています。

以 上